

月刊 おかじょうき

# おかじょうき

<http://www.okajoki.com/>

D511  
No. 511

2025

5

無人駅鑑賞「カンテラ」 むさし 4

会員雑詠集「無人駅」 7

## ■例月句会結果■

おかじょうき川柳社 4月例句会 19

十和田たてがみ川柳会 3月句会報 25

Infomation 28～

月刊おかじょうきを

ど～～しても紙で見たい！

というあなたへ

2月号から紙の柳誌発行を止め、電子柳誌だけの発行に移行しましたが、皆さんには「絶対、電子だけで見てください！」とやっているわけではありません。経済的に余裕のある方は（といっても月数百円くらいですが笑）、製本された形ではないですが、紙に印刷して読む方法もありますので、以下の方法の中から、ご自身の周辺の環境に合った方法でお試してください。

## 【方法①】PCとプリンターで印刷する

お家にパソコンとプリンターがあれば、電子柳誌をお好きな大きさの用紙に印刷すればOKです。

## 【方法②】スマホとセブンイレブンで印刷する

右のアプリを使って、お近くのセブンイレブンのコピー機でスマホで印刷することができます。



## 【方法③】スマホと近くのコンビニで印刷する

右のアプリを使って、お近くのコンビニ（ローソン、ファミリーマート、ミニストップ、ポプラ）のコピー機から印刷することができます。



## 【コンビニでのプリント参考価格】

A3モノクロ1ページ：約20円 / A3カラー1ページ：約100円  
見たいページだけ印刷して節約するのもアリですね！

## カンテラ

おぼろし

杉野十佐一賞に選者の定年制を導入することになりました。

第30回から杉野十佐一賞の選者は75歳で定年となります。

その結果、私と徳永政二さんが退くことになりましたので皆様のご理解を賜りたいと存じます。

新選者になりましたも、よろしくお願いします。徳永政二様、これまで誠にありがとうございました。

それでは、カンテラに明かりを点しましょう。

## A群

桜散る私の夢はまだ散らぬ

村上てる

相手を選んで言ってるのかな。相手によっては転ぶ前から手を貸して欲しかったりしてね。でも、一度はこんな啖呵を切ってみたいもの。後期高齢者になってから特にそう思います。

## B群

シーラカンスからもらった不眠症

小野五郎

ガス欠の少し手前の加齢臭

三浦倉鬼

立ち枯れのアジサイだったこともある

熊谷冬鼓

自己主張しだす毛穴という毛穴

きさぎ彼御吾

午前四時申し送りに無いくしゃみ

須藤しのすけ

星空に浮かべた船に酔っちまう

葉 閑女

骨埋める土地の桜の紅の濃さ

吉田州花

三月のぼこぼこに躓いている

守田啓子

丁度いい檻をみつけた冬の隅

米山明日歌

正直に中途半端に次へ行く

戒 踊兵

戒 踊兵さん、どうしても「けり」がつけられなくて「中途半端に次へ行く」ことが「正直」なことだというのは精神的にキツイですね。んん？これって、川柳作句

無職って書いて不孝と読んでいる

村井規子

君想うところが消えるまで眠る

嵯峨山登

どや顔で河馬に入れ知恵するカラス

宮井いずみ

夢という文字がぼやけて掴めない

辻井洋子

今はもう戦い方も忘れまじ

田中 薫

どれくらいふかきところで悟れるか

鳴海賢治

鳥になるにはいくつかの問題点

斎藤泰子

納豆のネバネバ尻尾生えてきた

坂本清乃

図書館の前でスレ違う約束

安藤なみ

黒髪の見納め時でございます

四ツ屋いずみ

転んでも手を貸さないでくれますか

まきこ

まきこさん、凄いい啖呵を切りましたね。これって、

のこと？にしても、「に」を2回も使っちゃってどうしたの？『に』『は』と見たら「の」に変えよ』って教えてくれた大先輩の杉山竜太さんに見せたら目をまん丸くしてしまふよ。でも、これはしょうがないか(笑)あれ、「次へ行く」は「に」にしなかつたんだね。

## C群

ビビンバのお焦げのような嫉妬心

峯島妙

死者生者それぞれのバス待っている

吉見恵子

風呂敷にしまふゴシック体のさようなら

芝岡かんえもん

手紙には小鳥が死んだって書いたの

柳本恵子

峯島妙さん、「ビビンバ」がお好きのようですね。「ビビンバ」って、『ビビンバ(朝鮮語 bibimbap) 朝鮮料理。白飯の上に肉・野菜の和え物を主にしたいろいろな具をのせ、まぜ合わせて食べる。ピビムパプ。』(広辞苑第七版)でしょ？青森市のある店の「石焼きビビンバ」、お焦げが矢鱈に美味しいのですが、「嫉妬心」ってそんなにおいしいものだったのですか…。

吉見恵子さん、「死者生者」って「死んだひとと生

きているひと」ってことですよ。死んだひとと生きているひとはそれぞれが乗るべき別のバスがあつて、それぞれにバスに乗ってどこかへ行く、ってことですよ。最後はどっちも冥土へ到着するのかな、違うのかな。

芝岡かんえもんさん、「ゴシック体」の「さようなら」ってあつたんですか。勉強不足でこの歳になるまで知りませんでした。他に、「明朝体」とか「教科書体」「行書体」とかもあつて、「ゴシック体のさようなら」「風呂敷」にしまい、「明朝体のさようなら」はエルメスのバッグにしまふとか、かんえもんさんならやっつけても不思議でないような、そうでもないような、むむむむ。

柳本恵子さんは、この「手紙」を誰に宛てて書いたのでしょうか。手紙をいただいた方は読んだ途端に泣き崩れてしまったかも……。どうして、いつ、どこで、なんて、そんなことに関係なくみんな泣き崩れてしまひそう。そう思います。

おかじょうき川柳社会員雑詠集

# 無人駅

★無人駅4月月間賞

ともだちはいないリンゴはふたつある

鳴海賢治

## ■おかじょうき川柳社 会員登録しませんか？

おかじょうき川柳社会員登録希望の方は、下記の口座までお振り込み下さい。

### 【会員特典】

- 月例会や会員雑詠集「無人駅」に投句できます！
- 川柳データベースに作品が掲載されます！
- 当柳社が主催する誌上句会等が参加費無料になります！
- 青森の美味しい特産品がたまにもらえます！ etc.

→郵便振替 No.02280-6-43112 口座名：おかじょうき川柳社  
→会費：4,000円（1年分）

## 柳本恵子【やなぎもとけいこ・奈良県奈良市】

宝石箱 第2釘と櫻花

そんなこと真顔で言うから梅の花  
手紙には小鳥が死んだって書いたの  
ハグしてあげる嘘も本当もぜんぶ  
ポケットに春の前髪入れておく

の月号  
先にお気に入り

人でいたくてまだ海にもどれない  
人ってあったかくて、いいものね  
坂本清乃

## 葉閑女【ようかんによ・青森県青森市】

夢だった 目覚めておもう亡き友のこと

星空に浮かべた船に酔っちまう  
肩を揉む魔性の赤をなだめつつ  
俳聖が病んだ枯野を夢想する  
天上黄泉彼岸にあの世十七回忌

の月号  
先にお気に入り

ノンアルがこんなにおいしい白樺湖 安藤なみ  
ノンアルも第3のビールもおいしくなりました。ビール  
会社の努力を政治家は見習わねば！

## 四ツ屋いずみ【よつやいずみ・北海道札幌市】

黒髪の見納め時でございます

第二章、いえ三章に来てたんだ  
ゴールデンカムイ溶けだす春だもの  
素うどんと疑ったりしてごめんね  
スクラップ&ビルド泣いたらあかん

の月号  
先にお気に入り

ふるさとを遠い異郷に設定す 金瀬達雄  
親がもう居なくなつたふるさととは異郷のようなものです  
ね、実感します。

## 米山明日歌【よねやまあすか・静岡県長泉町】

塩辛いところの抜けぬ自由あり

水に浮く黒を沈めに北の宿  
定位置にもどらぬ首はいらんかね  
裏・表 どちらも鍵のない独り  
丁度いい檻をみつけた冬の隅

の月号  
先にお気に入り

牡丹雪誰か訪ねてきたような 渡邊こあき  
牡丹雪がふると、誰か訪ねてきたようなワクワクした気  
持ちになります。

## 吉田州花【よしだしゅうか・青森県青森市】

妹へ急ぐ車窓の古い館

骨埋める土地の桜の紅の濃さ  
残雪から春へ三時間あれば  
葬館の少し向こうの観覧車  
絵を描くわあなたトンボに描くために

の月号  
先にお気に入り

アボカドの種並みの確信ですの 四ツ屋いずみ  
外れ無いことを祈ります。泉をいずみにかえてください  
ますよう。

## 吉見恵子【よしみけいこ・青森県青森市】

クロッカス ことしの靴は合うかしら

春風に二月の薨が舞い上がる  
しじみしじみボールの中はレクイエム  
サプリメントでシーラカンスになってゆく  
死者生者それぞれのバス待っている

の月号  
先にお気に入り

## 渡邊こあき【わたなべこあき・青森県青森市】

不器用な傘だちつとも開かない

三分割にしておく登記名義人  
不信感つのらせているケーキ箱  
スポットライトから外れていますグータッチ  
コーヒーの泡不協和音を消してゆく

の月号  
先にお気に入り

かばい手が地球を引っ掛けてしまふ 夏草ふぶき  
引っ掛けた地球はどうなりましたか？かばった左手は大  
丈夫ですか？

## 安藤なみ【あんどうなみ・愛知県瀬戸市】

少年の声で届ける「千の風」

図書館の前でスレ違う約束  
有酸素運動黄信号を走る  
弁当を皿に並べるだけの役  
カーペットごみを押し込むためにある

の月号  
先にお気に入り

重くなるのよそれは綺麗な雪だけど 吉田州花  
綺麗な雪、と言ってあげるのですね。

### 亥の一【いのいち・青森県青森市】

神剣のFを削って夜の海  
ポケットにやつと見つけた砂時計  
片袖を残したことも忘れたか  
スウィーツなホームに一振り黒胡椒  
サイコロをあなたの額に賭けました

先月号のお気に入り

受信トレイに時々やって来る人魚　むさし  
潮を読んでやって来るんですね

### 岩根彰子【いわねあきこ・京都府京都市】

ヨサコイヨサコイ件のカボチャ  
5分前にはつた日向にならなつた  
もたれあつてる迷い箸してる春  
鬼瓦ガン見一瞥土筆んぼう  
自尊心タカアシガニが舐め回す

先月号のお気に入り

時計の針を追いかけている老いた犬　むさし  
よい句は永久記憶に鎮座して動きませぬ。

### 尾崎良仁【おざきりょうじん・千葉県船橋市】

妻の生理のガラス破片とダリア  
一句二句三句と舌を絡ませて  
春の章読み終え妻の下着干す  
「ど」が書ける嗚呼俺は今「ど」が書ける  
妻の競売所までバス賃が無い

先月号のお気に入り

### 小野五郎【おのごろう・青森県青森市】

税務署に漂っている吟醸香  
VRの傷に血止め草はつている  
シーラカンスからもらった不眠症  
ポケットからハンカチ出すと嘘くさい  
夏の海へミングウェイはなぜ死んだ

先月号のお気に入り

### 戎踊兵【えびすようへい・青森県外ヶ浜町】

受け取ったバトンがみんな黴ている  
磯船が尖ったままで朽ちている  
寒がりも連れて行かれる北帰行  
あと幾つ寝ると私に戻れるの  
正直に中途半端に次へ行く

先月号のお気に入り

オムレツはぐちゃぐちゃ日帰りする言葉　宮井いずみ  
「日帰りする言葉」って良いなあ。

### 奥田悦生【おくだえつお・三重県伊勢市】

永代墓を予約いつでも逝ける  
枕を高く毎晩違う夢を見る  
♫と♀ぎつくばらん生きて行く  
ひよいと飲む酒どくろの旗をなびかせる  
濡れた靴僕の心はソレアード

先月号のお気に入り

百均の枯葉マークでいいですか　熊谷冬鼓  
私も買って付けなくちゃ

### きさらぎ彼句吾【きさらぎあくあ・青森県弘前市】

今から何歩なんだろこの恋の余命  
道連れはバカボンのパパそして嘘  
自己主張しだす毛穴という毛穴  
道連れ欲と計り合う身の丈  
お仕着せのセリフなんかに絆される

先月号のお気に入り

罪だなあレモンの香りする別れ　一帆  
スルイ!

### 熊谷冬鼓【くまがいとうこ・青森県青森市】

「お待たせ〜」どうやら待っていたらしい  
立ち枯れのアジサイだったこともある  
それはそれこれはこれだと裏返す  
深読みはしないと決めて折り返す  
囀りで目覚めるひと日それだけで

先月号のお気に入り

受信トレイに時々やって来る人魚　むさし  
覚えのない請求書を無視したら領収書が来るようになった(笑)

### 斎藤泰子

【さいとうたいこ・秋田県大館市】

鳥になるにはいくつかの問題点  
告白も余興のひとつとして聴く  
ドキドキとしない人とも飲むワイン  
春になる進入禁止区域から  
いなないてみようか今日の闘争心

先月号の  
お気に入り

血縁を支えています突っぱり棒 渡邊こあき  
突っぱり棒にだって限界はある。うん、ある。

### 坂本清乃

【さかもときよの・青森県蓬田村】

肥料も種も用意は出来た春よ来い  
納豆のネバネバ尻尾生えてきた  
思い出は上書き保存月に置く  
何処にでも咲く為に居るワ・タ・シ  
賽銭がサクラサクラと歌ってる

先月号の  
お気に入り

### 嵯峨山登

【さがやまと・佐賀県大和町】

奥山に雪突きつきやぶり咲く聖花  
七色の虹を掛けよう君がため  
君想うところが消えるまで眠る  
なくなったはずの心臓痛みだす  
お互いを死者に数えていたふたり

先月号の  
お気に入り

雷に撃たれてからの私です 米山明日歌  
「打たれる」ではなく「撃たれる」。銃のような衝撃。雷  
は神なりや。

### 笹田隆志

【ささだたかし・青森県青森市】

急ぎ足で三途の川を渡ってる  
そんなにも愛してたなら生きてたのに  
昨日まで雪の下です福寿草  
酸ヶ湯の湯首までつかる退職日  
北斗七星終の棲み家の設計図

先月号の  
お気に入り

### 芝岡かんえもん

【しばおかかんえもん・神奈川県横浜市】

旦那です 出汁のよくだる鯉節  
腕時計してる 冒険が始まる  
風呂敷にしまうゴシック体のさようなら  
覚悟せよボタンの穴はもういない  
ニンゲンをかわす 節々痛くなる

先月号の  
お気に入り

猫じゃらしだったとしてもじゃれてみる 斎藤泰子  
わたしもこんな感じで生きてきました。

### 城後朱美

【じょうごあけみ・福岡県八女市】

川柳会の存続危うくなってきた  
こんな時次期会長を指名され  
会長の枠ではないとお断り  
だとしても川柳が好きやめられず  
私流の会長ならば引き受ける

先月号の  
お気に入り

風邪だって「風邪引かないで」と言いながら 葉閑女  
風邪の気持ちをはじめて知りました。

### Sin

【しん・青森県外ヶ浜町】

スヌーズで流れる 王様の数え唄  
ひとり 揺蕩う ふたり 境界線  
今朝抜いた鼻毛を勇者の剣として  
訳あつて三人称で泣いている  
数助詞はつかない 命の数え方

先月号の  
お気に入り

ただいまの相場としてはかきつばた 鳴海賢治  
「ただいまの相場」ってなに? 「おかえりの相場」もあるっ  
てこと? 気になる…。

### 須藤しんのすけ

【すとうしんのすけ・青森県弘前市】

さびしい夜は化けの皮着て武装する  
コンビニの音が流れる右の耳  
午前四時申し送りに無いくしゃみ  
わたしにはひとりじかんがながすぎる  
つまらない肩書きばかり描くブログ

先月号の  
お気に入り

おーい雲天国までは遠いのか 村上あつこ  
「そんなに遠くありませんよ」って、軽く答えが返ってき  
そうで良いですね。

瀧尻善英【たきじりよしひで・青森県八戸市】

見ない振りして三猿がジツと耐え  
瘡蓋へ僕の懺悔が剥がれ落ち  
ひと言の攪乱サツと場が白け  
何も無い一日だった高いびぎ  
援軍を出したアナタにきび団子

先月号の  
お気に入り

乳房がまだ貴方の方を向きたがる 田中薫  
貴方に視線が向くのではなく、乳房が向くのですね。発  
見です。これぞ川柳！

田中 薫【たなかかおる・青森県弘前市】

半世紀前の告白ノイズです  
シナプスが粉雪になる灰になる  
金箔のドレスのような夕日だった  
今はもう戦い方も忘れました  
線路から垣間見る花強い子です

先月号の  
お気に入り

深呼吸して深呼吸して 逃げる 守田啓子  
今、そんな気分です。

鳴海賢治【なるみけんじ・青森県つがる市】

どれくらいふかきところで悟れるか  
しだいにきえた星くずのなみきみち  
貸してからこうかいしてるうさぎ齢  
ぬきさしならぬことになった赤の他人  
焼菓子のひとつやふたつ死にはせぬ

先月号の  
お気に入り

深呼吸して深呼吸して 逃げる 守田啓子  
シンプルにして、逃げる、のおさめがよい。

舟木小柳【ふなきこりゅう・青森県青森市】

雪解けて嬉しき八分寂しき二分  
足二本ポール二本のウォーキング  
処方箋二枚が増えて禁酒する  
朝寝坊残る命の無駄遣い  
来世では翔平君の親になる

先月号の  
お気に入り

重くなるのよそれは綺麗な雪だけだ 吉田州花  
雪国に住む人々は、みんな同感でしょうね。

辻井洋子【つじいようこ・青森県青森市】

行く末をおやつパリパリ食べて吐く  
トースターポンこんな感じで歩いてく  
わたくしの芯の軽さに咳払い  
夢という文字がぼやけて掴めない  
春風と何処に行こうか会議中

先月号の  
お気に入り

あっちにいつてワタシの涙なんだから 芝岡かんえもん  
こんな可愛い句、ほっこり、しました。

夏草ふぶぎ【なつくさふぶぎ・青森県青森市】

生真面目なニートだ出された飯を食う  
マニキュアが朝日を振り払つちまう  
パンが焦げすぎて朝日の脂汗  
上等な人を演じて眠くなる  
話すこと山ほどあつて不眠症

先月号の  
お気に入り

花一輪そんなシャープな葬にして きさしぎ彼句吾  
希望通りになるといいけど、意に反して花いっぱいにな  
りそつな。

まきこ【まきこ・青森県青森市】

雑踏の中で私を書き替える  
煮て焼いてこれから先の長いこと  
転んでも手を貸さないでくれますか  
旅の空明日は明日四股を踏む  
さくらさくら若かったわねあの頃は

先月号の  
お気に入り

まみどり【まみどり・青森県黒石市】

満腹に別腹なんて恐ろしい  
ひと口を乗り越えたなら相撲級  
頭では理解している有酸素  
アルコール度数に負けてなるもんか  
錠剤を並べて気ままごめんさい

先月号の  
お気に入り

事情など聞き始めたら帰れない 斎藤泰子  
これは困ったことになりました。

### 三浦蒼鬼【みうらそうき・青森県黒石市】

あれこれそれを煮詰めて僕の決算書  
ガス欠の少し手前の加齢臭  
遠くへと行ける方策ありますが  
雲から雨へと変わる日の覚悟  
サプライズなら煮崩れた後がいい

先月号の  
お気に入り

### 峯島 妙【みねしまたえ・大阪府大阪市】

肉肉しいコピーだらけの町中華  
ビビンバのお焦げのような嫉妬心  
空き箱の甘えん坊なシリカゲル  
丸ごとのキャベツがぼつと平野レミ  
アボカドに何度も刃先立てている

先月号の  
お気に入り

夏は「夏」冬は「雪ハテ」してしまふ 瀧尻善英  
今年の雪事情は本当に凄かったですね。

### 宮井いずみ【みやいいずみ・大阪府大阪市】

結界の中にいるのに詐欺電話  
どや顔で河馬に入れ知恵するカラス  
マハリクマハリタ小脳をリセット  
磁場くるう猫はおうちに帰れない  
ナギの木に擬態どうでもいいのです

先月号の  
お気に入り

日本の乾燥肌を掻きむしる 戒踊兵  
無印良品の敏感肌乳液高保湿がおススメです。

### 村井規子【むらいのりこ・青森県大鰐町】

納豆に醤油と黒酢老いを蹴る  
無職つて書いて不孝と読んでいる  
国民をご慰労願います総理  
独り身の吐いて良い事轍あり  
家系図に女バカボン私だな

先月号の  
お気に入り

君の高さでポニーテールは結ばれる 須藤しんのすけ  
ポニーテールを結び終えて向き直った後どんな会話にな  
るのか想像すると楽しい。

### 村上あつこ【むらかみあつこ・青森県青森市】

虹の橋渡った先にある迷路  
メモ紙を無くして道に迷ってる  
旅のゴールは三途の川の少し先  
変じゃない今日はいつもの日曜日  
ビードロピコピコ長崎は今日も雨

先月号の  
お気に入り

おしゃれ着洗いで過去をジャブジャブ 柳本恵子  
良いですね過去汚点もきれいになるかな

### 村上てる【むらかみてる・青森県青森市】

亡夫愛用モンブランペンで投句する  
桜散る私の夢はまだ散らぬ  
フライパンまだジュワーと元氣です  
やむ膝に年令の所為だと言いきかせ  
雪晴れ間北帰行を眺めてる

先月号の  
お気に入り

まだ歩く八十前に逝かぬため 村井規子  
私は九十一歳になり、一日千〜二千歩歩いています。続  
けることは大事です頑張りましょう。

### 守田啓子【もりたけいこ・青森県三沢市】

三月のぼこぼこに躓いている  
然るべきところで吹雪く親不知  
いつだつて姉に向いてた不平等号  
温めてもらった耳が母を恋う  
夕暮れただけのふたりのサスペンス

先月号の  
お気に入り

文集のとおり生きてる君が好き 舟木小柳  
子どもの頃の夢が叶うなんて。ハッピーー!!

### むむし【むむし・青森県蓬田村】

議事堂でいつも冬眠してる熊  
蕎麦手繰る花咲く音を聞きながら  
雷神のタトウと冬のハエタタキ  
楊貴妃が如意棒持つてやって来る  
では聞こうゴジラは森へ帰れるか

雪だるまは

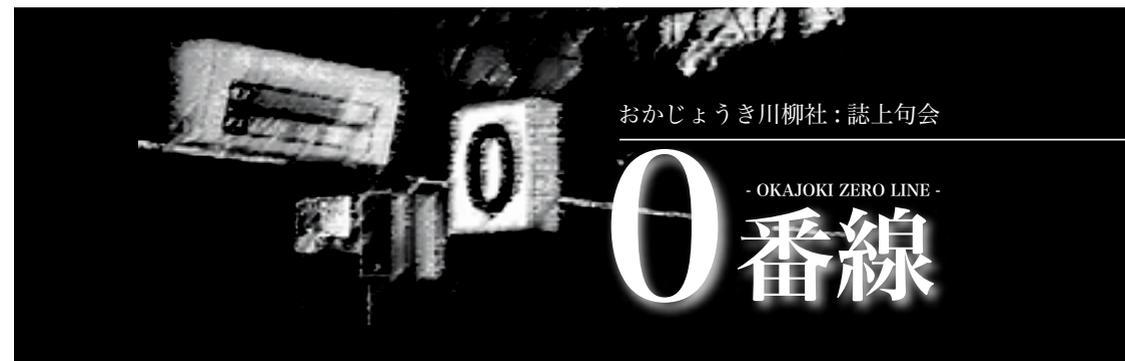
4月5日(土) 午後2時～ アウガ5F 小会議室

▼出席者(17名)

きさらぎ彼句吾・熊谷冬鼓・木村美映・渡邊こあき・舟木小柳・葉閑女・野沢省悟・小野五郎・高木まあこ・田中薫・守田啓子・むさし・吉田州花・原口健二・夏草ふぶき・須藤しんのすけ・笹田隆志

▼投句者(20名)

安藤なみ・柳本恵子・米山明日歌・宮井いずみ・戎踊兵・峯島妙・芝岡かんえもん・奥田悦生・鳴海賢治・斎藤泰子・村上あつこ・郷田みや・一帆・坂本清乃・まきこ・まみどり・村井規子・境沢一千雄・城後朱美・嵯峨山登



課題と選者(2句詠・共選)

題: 『金』

選者

妹尾 凜 (秋田県)

むさし (青森県)

7/31 〆切

投句方法

※誠に申し訳ありませんが、郵送・FAXでの応募は受け付けておりません。

▼ウェブサイトからの応募

[投句フォームを開く](#)

作品応募フォームから必要事項を記入して送信してください。

▼メールで直接送信

[メールで投句する](#)

メール本文内に「作品(2句まで)」「郵便番号」「住所」「氏名または雅号(ふりがな)」「電話番号」を明記し、送信してください。

投句料(※おかじょうき川柳社会員は無料です。)

1,000円

◆振込先: 郵便振替 No.02280-6-43112 口座名 おかじょうき川柳社

賞

特選の方に青森県特産品を贈呈。

席題『働く』

青森県弘前市 きさらぎ彼句吾選

【佳作】

ありますよ金にならない仕事なら  
熊谷冬鼓

バツタ屋の家系いつだって桜  
吉田州花

役者ですが労働者の役ばかり  
笹田隆志

二百色の白で天使の羽を描く  
須藤しんのすけ

無職です今日は何して遊ぼうか  
渡邊こあき

辞令交付アンパンマンを命じます  
守田啓子

電池が切れてきょうは仕事できません  
むさし

まつ先にカーテン開けるのが仕事  
熊谷冬鼓

星に手を振るのが僕の仕事です  
むさし

労働者諸君かに缶をあげましょう  
小野五郎

発情期シーラカンスは動かない  
小野五郎

野も山も目覚め働き蜂ラ・ラ・ラ  
葉 閑女

労働の対価でしょうか不幸  
舟木小柳

停年のイルカに帰る海がない  
小野五郎

働きが足りない僕の第六感  
葉 閑女

【秀逸】

働いた長さの旅に出ています  
夏草ふぶき

AIを稼働させてる焼き芋屋  
笹田隆志

立ちどまると夜の帳が下りている  
夏草ふぶき

【特選】

非正規のままで雪だるまは溶けた  
野沢省悟

⌚危つく儂い存在同士だものネ。

席題『働く』

青森県青森市 熊谷冬鼓選

【佳作】

バブル期のつけを今ごろ払ってる  
渡邊こあき

立ちどまると夜の帳が下りている  
夏草ふぶき

ワタシより強い私の手と足だ  
高木まあこ

泥舟の対価たつぷり浴びた月  
吉田州花

AIを稼働させてる焼き芋屋  
笹田隆志

寅さんがあこがれていた労働者  
野沢省悟

働きが足りない僕の第六感  
葉 閑女

何ハラか知らんが人手不足です  
守田啓子

発情期シーラカンスは動かない  
小野五郎

電池が切れてきょうは仕事できません  
むさし

星に手を振るのが僕の仕事です  
むさし

気がついた働き中毒だったこと  
吉田州花

働けど働けどただの手であった  
木村美映

ウルトラマンやり終えすするカップ麺  
きさらぎ彼句吾

闇バイトやつてみたいという尻尾  
むさし

【秀逸】

ダイエット働きなさい動きなさい  
田中 薫

辞令交付アンパンマンを命じます  
守田啓子

非正規のままで雪だるまは溶けた  
野沢省悟

【特選】

停年のイルカに帰る海がない  
小野五郎

⌚自宅の居間では狭過ぎましたかね。

# 宿題『匂う』

青森県蓬田村 むさし選

## 【佳作】

バスで行く海の匂いを確かめに  
オムレツの匂いがするわ母だろか  
この匂い遠い昔に嗅いでいる  
まあだだよ襟足匂う終列車  
不祥事の匂うテレビの午後三時  
夕鴉なにを嗅ぎつけ群れるやら  
パンを焼く匂いをガザに届けたい  
家電に詐欺の匂いが立ちこめる  
瞬きが何かあるなど匂わせる  
消臭剤シュシュツ わたしがいなくなる  
留守電に春の匂いを入れておく  
交番の匂いに反応する股関節  
匂わない屍体が眠る冷凍庫  
忘れたい昨日めしべの匂いする

斎藤泰子  
まきこ  
まきこ  
笹田隆志  
木村美映  
葉 閑女  
舟木小柳  
渡邊こあき  
渡邊こあき  
守田啓子  
熊谷冬鼓  
小野五郎  
野沢省悟  
郷田みや

乳房から母の臭いを消すルージュ  
ふきのとう匂うし翼むずむずするし  
母さんはアサギマダラの匂いして  
甘酸っぱい金色の第二ボタン  
美味そうに匂ったヒトについていく  
スマホから送ってしまう加齢臭

【五客】  
こんな日は雨のアロマを焚き染める  
屍臭出でないか地球を嗅いでみる  
嘘つきのいい匂いだね同じだね  
散り際に薫れるように生きてきた  
わたくしの匂い変えたのあなたでしょ

【人位】  
炙り出しで届く匂いたつ乳房

【地位】  
つぼくなつたつばい匂いの中にいて

【天位】  
干し草の匂うところからやり直す

「干し草」の小屋で何してたのかなあ。

きさらぎ彼句吾  
守田啓子  
宮井いずみ  
柳本恵子  
芝岡かんえもん  
野沢省悟

# 宿題『値』

青森県三沢市 守田啓子選

## 【佳作】

数値からいくとこの世のものじゃない  
円周率男と女どこまでも  
もう少し高くてもいい豆もやし  
値を聞いて驚きましたやませです  
だからさあ私に値段つけなないで  
枕にも小僧にもなる膝と居る  
夢のせたひょうたん島の資産価値  
永久歯に沁みる恋愛の糖度  
半額のシール貼られてから勝負  
融通のきかぬ真面目の絶対値  
枝折れのコブシ咲かせて春を呼ぶ  
価値観が違う杖とは歩けない  
非売品のうなじひとつを持つている  
闇バイト尻尾小銭の音がする

まみどり  
芝岡かんえもん  
村井規子  
鳴海賢治  
まみどり  
葉 閑女  
柳本恵子  
峯島 妙  
原口健二  
宮井いずみ  
葉 閑女  
渡邊こあき  
野沢省悟  
野沢省悟

トランプを見てると上がる血糖値  
値踏みされていたさもしい角度から  
もう値踏みさえされなくて桜蕊  
値切るのは苦手でゆるゆる生きている  
好きで買う多分価値などないだろう  
付加価値を鰻のタレにまぶしとく

【五客】  
関税をかけられている脛の傷  
百均の棚に総理を置いてみる  
値切っても値切らなくとも春は春  
黄砂にも関税たつぷりかけてやる  
マイナス5そんな気分の夕間暮れ

【人位】  
人を喰う芥子の白さを買いたたく

【地位】  
その価値はどんな分母で割るのだろう

【天位】  
値切られて脚の長さの違う春

「春にも両足があったとは!!」

むさし  
きさらぎ彼句吾  
宮井いずみ  
熊谷冬鼓  
吉田州花  
峯島 妙

米山明日歌

守田啓子

きさらぎ彼句吾

まきこ

夏草ふぶき

まきこ

野沢省悟

峯島 妙

きさらぎ彼句吾

守田啓子

宮井いずみ

柳本恵子

芝岡かんえもん

# 宿題『自由詠』

青森県弘前市 田中 薫選

## 【佳作】

人の世で仏になると鬼が来る  
 プーチンはクレオパトラかヒトラーか  
 泥臭さ森をぬけてもまだ残る  
 神さまを探す渋谷駅前交差点  
 蓬萊山頂風に吹かれる股関節  
 鬼だつて突然牙を剥くんだよ  
 シーソーのデッコンバタン不整脈  
 松茸も戦争にまきこまれた  
 ペコちゃんの写真になったことがある  
 その先を空白にして友が逝く  
 祈るなら桜の花を脱ぎ捨てて  
 カップ麺おまへはいつも味方だね  
 煩惱の延長線が焦げ臭い  
 首筋を嘔むカマキリにそうさせる

嵯峨山登  
 笹田隆志  
 坂本清乃  
 一 帆  
 小野五郎  
 村上あつこ  
 坂本清乃  
 鳴海賢治  
 野沢省悟  
 葉 閑女  
 郷田みや  
 坂本清乃  
 守田啓子  
 戎 踊兵

## 十和田たてがみ川柳会三月句会

○日時 令和7年3月15日(土) 午前10時から

○会場 十和田労働福祉会館

○参加者 木村奈生美・久保あざみ 佐藤まさあき  
 き・斉藤蛙井・白山修治・瀧尻善英・福田芳記・  
 村上昌子・高田幸柳  
 ○投句者 磯島雅男・城後朱美

## ■席題 『ロマン』

### 【平抜き】

憧れは長生きの道いつまでも

冒険へ夢一筋に生きた父

先人のロマンを紡ぎ生きる今

ロマンスに触れて脳味噌補充する

最期まで空想好きが止められぬ

いくたびのロマンの果てに得た女房

老いてなおロマン求めて多忙中

夢二の絵大正ロマンに浸ってる

幾星霜 土器の欠片が解くロマン

福田 芳記 選

白山 修治

木村奈生美

高田 幸柳

木村奈生美

村上 昌子

斉藤 蛙井

高田 幸柳

佐藤まさあき

瀧尻 善英

## 【秀逸】

作句中世界一周してる脳

トランプに掻き回される近未来

ふんわりと鎧着てます雨しとど

くしゃくしゃのころを伸しているところ

しあわせのレシビでつくるみなみ風

裸婦像が放つオーラに立ち止まる

## 【五客】

銀紙の下は涙の跡のほほ

あなたに酔いたくてどける一字空け

花冷えの街をさまようハンモック

つたわらぬ言葉から赤ひいてみる

ワタシが映る臆病な水たまり

## 【人位】

西日射す母が遺した鏡台へ

## 【地位】

わたくしは貰った恩で立っている

## 【天位】

嗚咽する風呂の湯ゴボリと抜けていく

※私も2回程ありました。共感。

夏草ふぶき

村井規子

原口健二

まきこ

斎藤泰子

芝岡かんえもん

奥田悦生

米山明日歌

きさらぎ彼句吾

小野五郎

高木まあこ

芝岡かんえもん

葉 閑女

葉 閑女

斎藤泰子

黒髪に染めて男が追うロマン  
戦国のロマンが香る城に立つ

瀧尻 善英  
高田 幸柳

## 【特選】

地上絵が古代のロマン語り出す

瀧尻 善英

## ■席題 『ロマン』

### 【平抜き】

最期まで空想好きが止められぬ  
夢二の絵大正ロマンに浸ってる

村上 昌子  
佐藤まさあき

いくたびのロマンの果てに得た女房

斉藤 蛙井

一人旅夢みて膝をなでている

村上 昌子

アランドロン怪しい魅力ロマンわく

福田 芳記

鬼あざみドラマを見てもときめかず

久保あざみ

ごめんねと詫びたいロマン一つある

高田 幸柳

老いてなおロマン求めて多忙中

久保あざみ

還暦はロマンス遠くそれでいい

久保あざみ

## 【秀逸】

気をつけよロマンス詐欺の甘い声

佐藤まさあき

ロマンスも浮名もあつた若い頃

佐藤まさあき

## 【特選】

戦国のロマンが香る城に立つ

高田 幸柳

■宿題 『老 化』

村上 昌子 選

【平抜き】

手のひらの葉が語るわが老化  
 伸びきった輪ゴムだけれど諦めぬ  
 愛犬と老化を共にする散歩  
 喜びと楽しみ増えるこれからだ  
 老化する脳を鍛える五七五  
 動かない暮らしに近くなる老化  
 淋しいが誰もが通る一里塚  
 愛犬の老化我が身に当てはまり  
 老化とは人の完成限りなく  
 いつの間にもメガネ外して見る書類  
 鏡見る度に老化が見栄を張る  
 物忘れいつも老化のせいになれ

【秀逸】

あつさりとは老化ですねと書くカルテ  
 老化には縁ない傘寿フラダンス

【特選】

髭を剃る鏡の中に亡父がいる

齊藤 蛙井  
 瀧尻 善英  
 久保あざみ  
 白山 修治  
 木村奈生美  
 木村奈生美  
 白山 修治  
 福田 芳記  
 高田 幸柳  
 高田 幸柳  
 磯島 雅男  
 高田 幸柳

城後 朱美  
 佐藤まさあき

高田 幸柳

■宿題 『朗 報』

齊藤 蛙井 選

【平抜き】

初孫に乳歯生えたとメール来る  
 元気だね産声に沸く電話口  
 内定通知届いて母のちらし寿司  
 あの頃の朗報を知る薬指  
 六月と八月友の来る知らせ  
 朗報と言える施設に空きがある  
 朗報が冷めないうちに分かち合い  
 朗報は風と一緒に吹いてくる  
 頑張りの背に朗報の風が吹く  
 停戦の朗報に沸くガザの人  
 今日の日待ちに待ったよ天の声  
 老いるほど明るい知らせ目がるむ

【秀逸】

ステージが完治をしたという知らせ  
 白鳥が春が来るねとほずむ声

【特選】

山は越えました主治医の太い声

佐藤まさあき  
 村上 昌子  
 城後 朱美  
 木村奈生美  
 村上 昌子  
 磯島 雅男  
 高田 幸柳  
 白山 修治  
 木村奈生美  
 福田 芳記  
 白山 修治  
 白山 修治

瀧尻 善英  
 村上 昌子

城後 朱美

■宿題 『浪 費』

互 選

- ①浪費くせ趣味の範囲と気にせずに 白山 修治
- ①国民が置き去りにされてる浪費 高田 幸柳
- ①兵器無駄地球の色変わる 村上 昌子
- ②退職し出勤ないのに靴を買う 久保あざみ
- ③クレジットカード持つ手が浪費きみ 磯島 雅男
- ③変わらない容姿へエステまだ通う 瀧尻 善英
- ③無駄遣いチェック厳しい家計の眼 木村奈生美
- ④パーツと散る桜をまねて散財し 齊藤 蛙井

◆十和田たてがみ川柳会5月旬会案内◆

【時】 5月10日(土) 午前10時から 【所】 十和田労働  
 福祉会館 【宿題】(各題三句詠)『哀れ』高田幸柳選/  
 『甘』木村奈生美選 【互選】(一句詠)『熱』当日  
 出席者のみ(句せんの裏に柳号記入) 【席題】『当日発  
 表』(三句詠・共選) 選者は、瀧尻善英ほか出席者から  
 一名 【投句先】〒034-0212 十和田市米田字桜平72  
 高田幸柳宛



□ **2025.05.31 第67回「不浪人賞」 第55回「年度賞」候補句募集**

【応募資格】青森県在住者【応募料】青森県川柳連盟加入吟社に所属している方は無料。無所属の方、また連盟だより（結果）の個人送付希望者は、その旨を明記のうえ百円切手を同封ください（不浪人賞・年度賞1位に呈賞）【対象作品】2024年1月～12月に発表された作品。「不浪人賞」・「年度賞」のどちらか、または両方の応募可 ※不浪人賞と年度賞への同じ作品の応募は不可【応募用紙】所定用紙またはA4の用紙を使用し、楷書で不浪人賞（3句）と年度賞（5句）を分け、それぞれに住所・氏名・電話番号を記入ください。※清記選【締切】2025年5月31日（当日消印有効）【発表】大賞の速報を各柳誌に掲載。結果詳細は「青森県川柳連盟だより」にて。尚連盟だよりの送付ですが、基本的に所属吟社に一括送付いたしますので応募の際は所属吟社記入のこと。【表彰】2025年8月～12月に開催される川柳大会にて（詳細未定）※大賞のみに賞状と記念品【送り先】〒038-3288 つがる市木造出来島33 青森県川柳連盟「不浪人賞・年度賞係」宛【選者】★不浪人賞（6名）渡辺梢（埼玉）・赤松ますみ（大阪）・鎌田京子（宮城）・新家完司（鳥取）・島田駱舟（千葉）・野沢省悟（青森）★年度賞（8名）長谷川酔月（秋田）・熊谷岳朗（岩手）・雫石隆子（宮城）・太田祐子（山形）・駒木香苑（福島）・笹田かなえ・千島鉄男・むさし【連絡先】青森県川柳連盟事務局 濱田哲也 Tel080-5574-9297【主催】青森県川柳連盟

川柳の大会情報をお寄せください。

□ **2025.05.15 さつき会 全国誌上会**

【締切日】令和7年5月15日（木）消印有効・複数口OK 【課題・選者】二句詠・二人選・参加吟一句『チャラ』東考矢（北海道）・青砥たかこ（三重）共選/『はしゃぐ』大竹洋（東京）・北山まみどり（青森）共選/『迂闊』水品団石（静岡）・駒木香苑（福島）共選/『がたがた』藤田武人（大阪）/稲沢ひろせ（千葉）共選（投句用紙あり・コピー可便箋書きOK）・【投句料】1口千円 現金・小為替・振り込み（ゆうちょ銀行：記号10550 番号83353261 川柳みるふいーゆ）グループ投句歓迎【投句・問合せ】〒274-0067 船橋市大穴南1-19-6 島根写太（代表）090-8509-4160（ショートメール可）syata33@gmail.com

□ **2025.05.18 第27回金木桜まつり記念川柳大会**

【日時】令和7年5月18日（日）受付10:00／席題発表11:00／投句締切12:00【会場】金木公民館1階会議室 0173(53)3581 津軽鉄道金木駅より徒歩15分（約800m）タクシーは営業してしないので要注意【会費】\3,000（昼食・発表誌）※懇親会はございません【宿題】（各題共2句詠）『土』佐藤ぶんじ・山野茶花子共選『成』福土慕情・菊池京共選『吸』三浦蒼鬼・工藤まさひろ共選【席題】（2句詠）「印象吟」むさし・千島鉄男共選【岸柳賞】（2句詠）「しょう」工藤りん子選【呈賞】宿・席題共 特選（1）準特選（2）を顕彰／北野岸柳賞 特選（1）準特選（2）を顕彰【主催】金木川柳の会【連絡・問合せ先】〈事務局〉090(7334)7297（成田我楽）

□ **2025.05.23 第5回草原賞**

【募集内容】未発表の自由吟（雑詠）3句【選者（共選）】清水すみれ（奈良県・前回優勝者）戎踊兵（青森県）大嶋都嗣子（三重県）黒田弥生（兵庫県）西田雅子（京都府）兵頭全郎（大阪府）【投句締切】令和7年5月23日（金）必着【投句方法】専用用紙（コピー可）に、作品3句と必須事項を記入して送付【投句先】〒606-8306 京都市左京区吉田中阿達町18の6 「第5回草原賞」事務局 中野六助あて【投句料】1000円（現金または定額小為替に限る。切手等は不可。参加者へ発表誌呈）投句は各人1組（3句）のみ。【選句方法】全作品を無記名の一覧表にし各選者あて配布、選句【賞】各選者による入選句を平抜（49句）3点、秀句（1句）5点で集計し、合計点で優勝・準優勝・第3位を決定。上位3名に賞金を授与。\*同点の場合は、①秀句賞の数②事務局受付順で決定。また、各選者の秀句に秀句賞（図書カード）を贈呈【発表】『川柳草原』7月号誌上【問い合わせ先】事務局（中野）Tel.090-7107-2006

■会費拝受【3月受付分】

古川啓子（青森県）

会員登録はこちらのフォームから申し込みください。

おかじょうき川柳社 お問い合わせ先

●投句以外のことについてはこちらへ●

熊谷冬鼓 toko@okajoki.com FAX.017-752-3759

終着駅 Sin

◆「カンテラ」でむさしさんが書いたように杉野十佐一賞の選者に関しては、75歳定年制を導入することにした。それに関しては、いろいろ賛否はあるだろうが、主催側の苦悩もあるわけで、なんとか理解してほしい。今年でいうと、徳永政二さんとむさしさんがとりあえず勇退することとなるし、第30回で広瀬ちえみさんが選者ラストイヤーとなるが、みなさんの推しの選者がいなくなってしまうとしても、また新たな選者が加わった杉野十佐一賞を盛り上げていただければと思う。また、選者を勇退された方が大賞を取る日が来るかもしれない。そんなストーリーも楽しみである◆さて、裏表紙に「川柳ステーション2025」の案内を掲載した。昨年は暮田真名さんにゲストに来ていただき、らくだのキャラバンの方々も大勢参加してくれて、とても盛況だった。今年はみなさんからの年会費を下げたことで遠方からゲストを呼ぶ予算もなく（笑）、どうしようかと会議も難航したが、私が20年前に始めようと思っていたおかじょうき川柳社のPodcast（ポッドキャスト）の記念すべき第1回をステーションの会場で公開録音してみよう

じゃないかと。M.C.は私とむさしさんが務めて、その日の選者と特選の作者に作品の読み、感想など楽しく聞ければと思う。ただ、音声だけで映像は映らないのでご安心を（笑）また、おかじょうき川柳社のPodcastなんて、そんなに需要もないだろうし、録音が失敗して公開されないかもしれないので（笑）、もし特選になってしまったとしても、気楽に臨んでほしい◆また、その後も句会の披露なんかをPodcast配信したり、実験的なこともチャレンジしてみたい。リモートでもOKなので、杉野十佐一賞の選者をゲストに呼んで、あれやこれやと話す回もあるだろうし、お笑い好きの暮田真名さんをゲストに迎えて、M-1グランプリの優勝予想も話したいなと思う（←出演OKされないと思うがww）。あまり、堅苦しいアカデミックな内容にはしたくないし、文学以外の音楽、映画、絵画など、他ジャンルに造詣の深い方をゲストにしながら、純粋にトークを楽しむような、おかじょうき川柳社らしい軽い内容で不定期にPodcastで遊んでいければと考えている。なので、今後、出演依頼された方は、無下に断らずご協力を（笑）◆Sin

おかじょうき川柳社 作品募集案内

□ 2025.05.03 おかじょうき川柳社本社 5月句会

【日時】5月3日（土）午後2時～【所】アウガ5階企画ワーク室③④【【投句締切】5月2日（金）15時【宿題】（各題3句詠）『干す』『乗』『自由詠』【席題】1題3句詠・2人共選。選者は当日の参加者より選出【川柳ラボ】互選句『木の実』1句【ウェブサイトから投句】<http://www.okajoki.com/>【メールでの投句】[moriko@okajoki.com](mailto:moriko@okajoki.com) 守田啓子宛

□ 2025.05.20 おかじょうき会員雑詠集「無人駅」5句

【締切】5月20日必着【提出】雑詠5句、お気に入り1句（最新号からお好きな作品1句とそれに対する簡単なコメントも記入）【掲載】7/1発行号【ウェブサイトからの投句】<http://www.okajoki.com/>【メールでの投句】[moriko@okajoki.com](mailto:moriko@okajoki.com) 守田啓子宛

□ 2025.05.21 川柳吟行会ほ吟行会

【日時】5月21日（第3水曜日）吟行後14時～合評句会【吟行場所】映画『アンジーのBARで逢いましょう』鑑賞（草笛光子主演・青森市シネマディクトで5/10～上映）【【合評句会】14時～青森駅前アウガ5階（作句数3句まで・参加費100円）※当日の鑑賞が不都合な方は合評日までに鑑賞吟行し、合評句会参加も可/会員以外の方の参加歓迎

□ 2025.06.07 おかじょうき川柳社本社 6月句会

【日時】6月7日（土）午後2時～【所】アウガ5階小会議室【投句締切】6月6日（金）15時【宿題】（各題3句詠）『眠る』『派』『自由詠』【席題】1題3句詠・2人共選。選者は当日の参加者より選出【川柳ラボ】互選句『バケツ』1句【ウェブサイトから投句】<http://www.okajoki.com/>【メールでの投句】[moriko@okajoki.com](mailto:moriko@okajoki.com) 守田啓子宛

□ 2025.06.20 おかじょうき会員雑詠集「無人駅」5句

【締切】6月20日必着【提出】雑詠5句、お気に入り1句（最新号からお好きな作品1句とそれに対する簡単なコメントも記入）【掲載】8/1発行号【ウェブサイトからの投句】<http://www.okajoki.com/>【メールでの投句】[moriko@okajoki.com](mailto:moriko@okajoki.com) 守田啓子宛

## 川柳ステーション

2025年5月1日発行（年12回発行）第30巻5号通巻374号  
 ●発行人／むさし●編集／Sin●発行／おかじょうき川柳社●表紙題字／金子榮風  
 青森県東津軽郡蓬田村阿弥陀川字汐千43-13 ●E-Mail:info@okajoki.com

おかじょうき川柳社 Podcast  
**「おかポキ」公開録音!**

川柳ステーション2025の会場でおかじょうき川柳社 Podcast 「おかポキ」を公開録音します！  
 当日の特選句をテーマに作者と選者の思考を深掘りしてみたいと思います。ですので、参加者の誰が出演するか誰にもわかりません（笑）  
 そんなユルユルな企画ですが、録音風景なんかもお楽しみくださればと思います（笑）

M.C. Sin・むさし/ゲスト：当日の特選者

【Podcastとは?】インターネットで聴ける音声配信のことです。ラジオと違い、いつでも好きなタイミングで聞くことができるのが特徴です。

事前投句（2句詠・二人共選・6/25 ㍻・欠席投句拝辞）

「声」むさし・Sin 共選



宿題（2句詠・3人選）

「自由詠」

自由詠6句をご用意ください。当日、参加者から選者を3人発表しますので、それぞれの選者に2句ずつ提出してください。

**2025.7.5 (土) 13:00 受付開始**

■場所：リッチモンドホテル 5F ブリリアンテラス（JR 青森駅東口より徒歩 17 分）  
 (TEL.0017-732-7655 / 青森県青森市長島 1-6-6)

■会費：6,000 円（句会・懇親会費込）